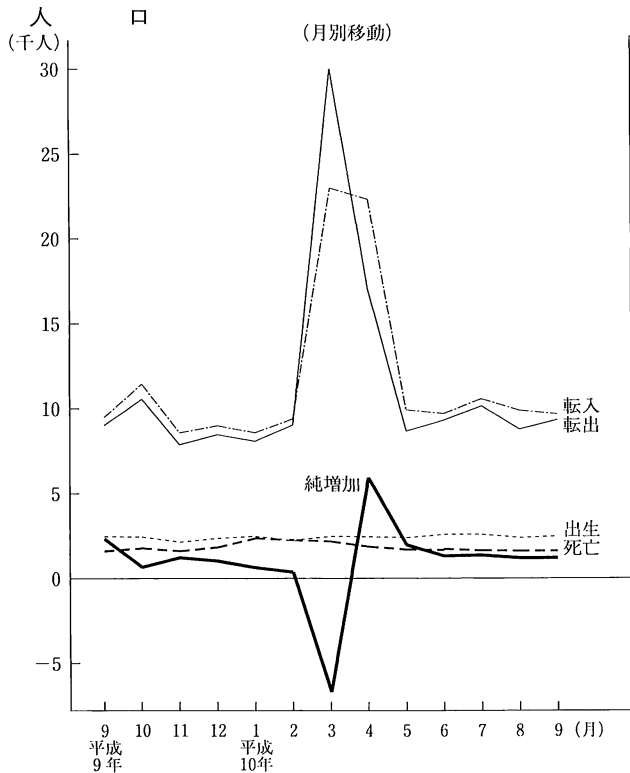
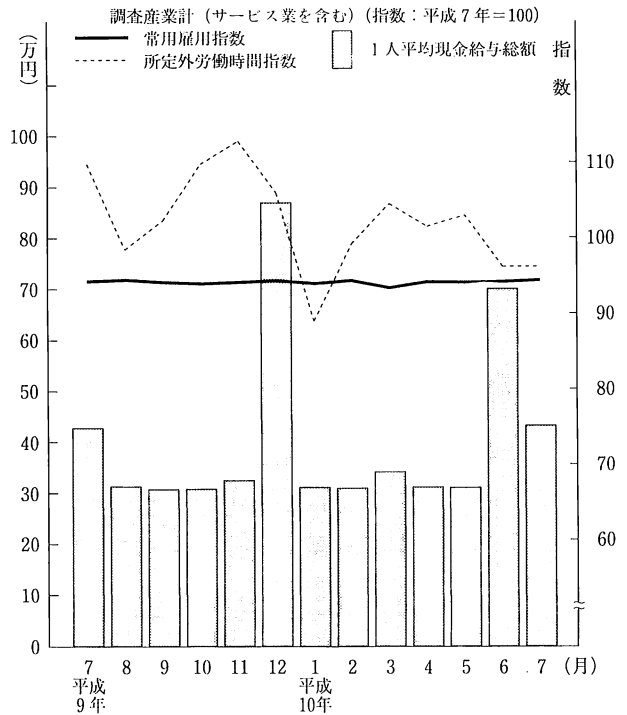


今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口（10年10月1日）

9月の概況

本県の人口は、9月中に1,202人増加し、10月1日現在で2,993,323人（男1,494,390人、女1,498,933人）となった。

内訳は、自然動態で877人（出生2,475人、死亡1,598人）増加し、社会動態で325人（転入9,656人、転出9,331人）増加した。前年同月と比べると11,756人（0.4%）の増加である。

市町村別では、増加が14市38町村、減少が6市26町村、増減なしが1村である。

世帯数についても9月中に1,006世帯増加し972,152世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（10年7月）

1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、調査産業計で431,085円、対前年同月比0.9%増、このうち、きまって支給する給与は308,312円、対前年同月比0.3%増であった。特別に支払われた給与は、122,773円であった。

2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で163.2時間、対前年同月比0.2%減であった。このうち、所定内労働時間は150.4時間、対前年同月比0.9%増、所定外労働時間は12.8時間、対前年同月比12.4%減であった。

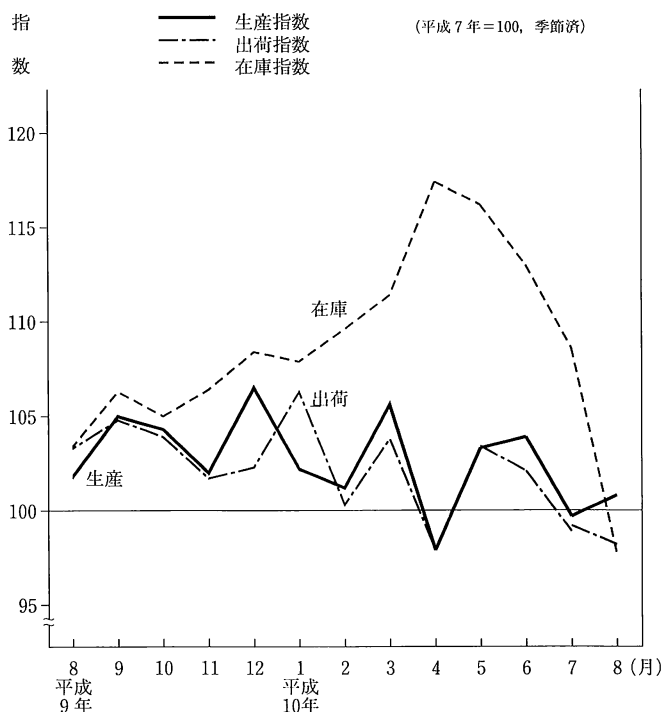
3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.5%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

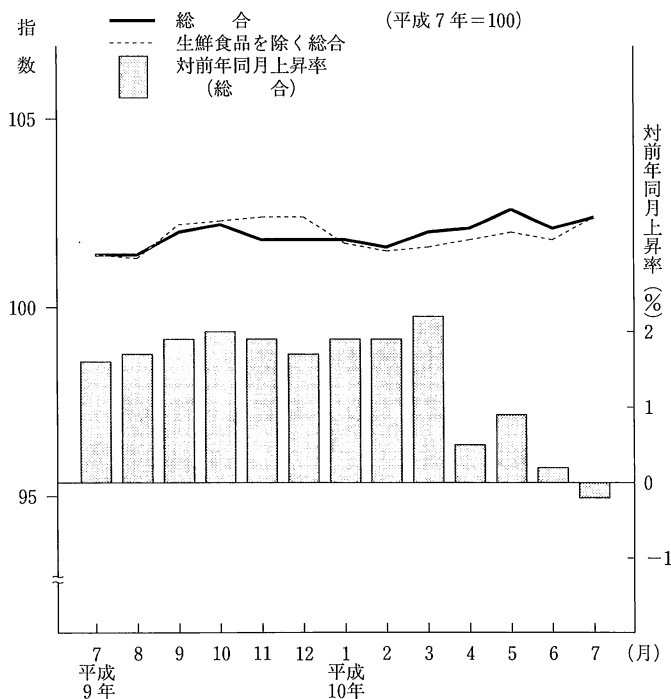


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年8月）

本県における平成10年8月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が100.8、出荷が98.2、在庫が97.7で、前月比は、生産が1.1%の上昇、出荷が△1.0%の低下、在庫が△10.0%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が△0.9%の低下、出荷が△5.0%の低下、在庫が△5.5%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、電気機械工業、鉄鋼業等が上昇し、精密機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、窯業・土石製品工業等が低下した。出荷では、鉱業、石油・石炭製品工業、金属製品工業等が上昇し、精密機械工業、鉄鋼業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、精密機械工業等が上昇し、電気機械工業、鉱業、プラスチック製品工業等が低下した。財別にみると、生産では、建設財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財が低下した。出荷では、建設財、資本財が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数



■ 消費者物価指数（10年7月）

平成10年7月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.2（平成7年＝100）となり、対前月比0.9%の下落、対前年同月比0.2%の下落となった。

今月の上がった主な項目……生鮮魚介4.1%、シャツ・セーター類3.9%、履物類4.6%

今月の下がった主な項目……生鮮果物7.6%、電気代4.8%、他の光熱5.5%

生鮮食品を除く総合は101.2となり、対前月比0.6%の下落、対前年同月比0.2%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	101.2	△0.9	△0.2	保 健 医 療	112.3	△0.1	10.2
食 料	101.2	△1.8	△0.5	交 通 通 信	97.5	△0.1	△1.7
住 居	101.9	△0.2	△0.5	教 育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	102.5	0.0	△2.5	教 養 娯 楽	98.5	△0.2	0.3
家具・家事用品	96.9	0.6	△0.3	諸 雑 費	101.0	△0.2	0.4
被服及び履物	103.6	△4.0	0.8	生鮮食品を除く総合	101.2	△0.6	△0.2